

* 血圧

水分がたまっている場合は血圧が高くなり、水分が足りない場合は血圧が下がります。しかし、血圧は体内の水分量だけで決まるものではなく、血管の硬さ、心臓の機能等々、様々な要素が関わってくるので、注意が必要です。

* むくみ（浮腫）

体に余分な水がたまると、むくみが出ます。水は重力に従って移動するので、座りっぱなしやよく歩いた後等は足に目立ち、自覚しやすくなります。

ただし、単純にむくみ＝水分過剰ではありません。栄養障害や貧血があったりすると、むくみが出やすくなります。むくみを完全になくそうとすると、血圧が下がってしまう方もいます。

* 体調

心胸郭比や血圧を適正な値にすることだけでなく、ご自身が「体調がよいと感じられるか」ということも大切です。例えば、倦怠感が強かったり、足がつりやすくなったり、声がかすれたり・・・ということがあれば、ドライウエイトが合っていない場合があります。

* 心臓エコー（超音波検査）

超音波を使った機械で、心臓の動きを見ます。心臓の動きが悪くないか、心臓に水がたまっていないか、弁膜症の有無等々が分かります。ドライウエイトの調整には、IVC（下大静脈径）、LVD（左室径）、LAD（左房径）等を参考にします。

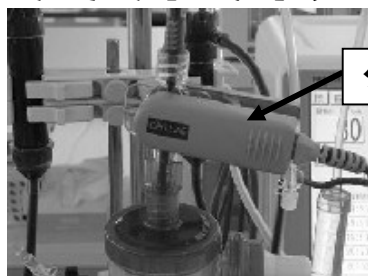
* 心臓カテーテル検査

スワンガンツカテーテル検査によって、心臓に水がたまっているかどうかをかなり正確に評価出来ますが、手間や痛みを伴う検査なので、ドライウエイトを決定するためだけに行うことは、一般的にはありません。

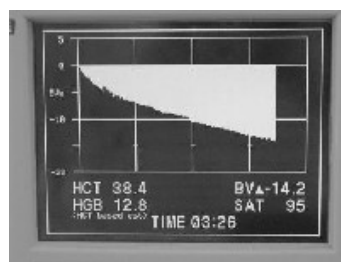
* hANP（ハンフ）

hANP（ハンフ）、正式名称「ヒト心房性ナトリウム利尿ペプチド」です。心臓のホルモンの一つで、体に水分がたまると心臓が引き伸ばされると高くなります。透析後（ドライウエイトの状態）に採血して指標とします。25-75pg/dl が適正範囲です。ただし、元々心臓に病気があったり、不整脈のある方は、数値が高くなるため、評価が難しくなります。

* クリットライン



クリップ



モニター画面

ダイライザーの動脈側に付けたチャンバーに光センサークリップをつけて、ヘマトクリットを連続的に測定し、血液の濃縮具合をみます。横軸が時間、縦軸が血液の濃縮具合を表します。時間が経つにつれて、